

2019年3月28日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

「ファンベース」を基盤としたマーケティング事業を行う合弁会社の設立について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、2019年1月11日付ニュースリリース『「ファンベース」を基盤としたマーケティング支援事業を担う合弁会社設立の検討に関する基本合意書の締結について』でお知らせしましたとおり、本日、アライドアーキテクト株式会社(代表取締役社長:豊増貴久、以下「アライドアーキテクト」)およびコミュニケーション・ディレクターの佐藤尚之氏(以下「佐藤氏」)と合弁契約書を締結しました。この契約書の締結によって、三者は「ファンベース」を基盤としたマーケティング事業を行う合弁会社「株式会社ファンベースカンパニー」(以下「新会社」)を2019年5月7日(予定)に設立します。新会社においては佐藤氏がチーフ・プランニング・オフィサーに就任してファンベース事業の企画統括を担います。

ファンベースとは、自社の商品やサービスを支持してくれるファンを大切な支持母体とし、売り上げや企業価値を中長期的に向上するという考え方です。新会社は「ファンベース」を中核に据えたマーケティング事業を展開し、企業やブランドの価値を支持するファンと共にマーケティング活動を行い、「ファン・企業・社会により多くの笑顔をつくること」を目指します。

新会社には、コミュニケーションデザインやマーケティング、ファイナンス、ITソリューションなど幅広い領域から多様な人材がメンバーとして参画する予定です。これにより、企業やブランドがファンベースに基づく戦略の企画・立案や施策の実行、ファンベースでのITソリューション活用、そして新規事業の創出が可能な体制を構築します。

人口減少や高齢化など、日本社会の構造は大きな変化を迎えています。新会社は、この変化の時代におけるマーケティング活動にあたっては、「ファンと企業が共に創り上げていくこと」が重要であると考えています。日本の今後の発展を担う地域や団体、小規模企業や事業、施設や個店のマーケティング支援にも注力するなど、さまざまな事業を展開していきます。

1. 新会社の概要

(1) 商号	株式会社ファンベースカンパニー(英名:fanbase company Inc.)
(2) 社名ロゴ	
(3) 所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目19-15 ウノサワ東急ビル3階
(4) 代表者	代表取締役社長 八木忠三郎
(5) 事業内容	ファンベースを基盤としたマーケティング支援事業(コンサルティング、マーケティング施策の企画・実行、ファンベース関連ソフトウェアの開発・提供等)
(6) 資本金	2億9,400万円
(7) 設立年月日	2019年5月7日(予定)
(8) 出資比率(潜在株式調整後)	当社51.0%、アライドアーキテクト44.0%、佐藤氏5.0%
(9) ウェブサイト	http://www.fanbasecompany.com

2. 佐藤氏のプロフィール

1961年東京生まれ。1985年、株式会社電通入社。コピーライター、CMプランナー、ウェブ・ディレクターを経て、コミュニケーション・デザイナーとしてキャンペーン全体を構築する仕事に従事。2011年に独立し株式会社ツナグ設立。「ファンベース」の提唱者である佐藤氏は、コミュニケーション・ディレクターとしてこれまで広告コミュニケーションを中心に多くの企業のマーケティング施策に携わり、豊富な実績と知見を有しています。現在は広告コミュニケーションの仕事の他に、「さとなおオープンラボ」や「さとなおリレー塾」「4th(コミュニティ)」などを主宰。最新刊は「ファンベース」(ちくま新書)。他の著書に「明日の広告」「明日のコミュニケーション」(ともにアスキー新書)、「明日のプランニング」(講談社現代新書)など。

【ご参考】2019年1月11日付ニュースリリース「『ファンベース』を基盤としたマーケティング支援事業を担う合弁会社設立の検討に関する基本合意書の締結について」

<https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/holdings/20190111/20190111.pdf>

以上